

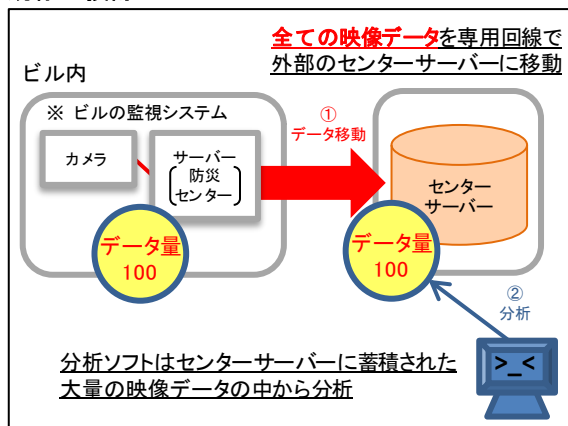
<添付資料 1> クリューステムズのクラウド型映像監視ソリューション「SeeIT」の詳細

クリューシステムズの製品の強みは、高画質映像データをネット上で簡単に扱うことを可能にし、かつその通信コストを大幅に削減できるクラウド技術です。このクラウド技術を用いた機器および閲覧・分析サービスが、クリューシステムズのクラウド型映像監視ソリューション「SeeIT」です。(以下、「SeeIT」)。

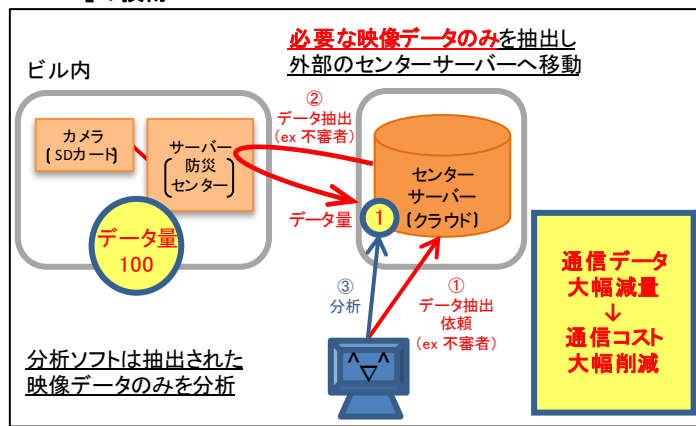
【「SeeIT」がコスト削減できる理由】

「SeeIT」は、既存の技術と比較し（以下比較図参考）、監視映像データを高画質、高精細のままカメラ内蔵のSDカードや防災センターのサーバーなど複数の場所に分散して保存し、必要に応じてクラウド上のセンターサーバーに送信されるため、無駄なデータ移動を防ぎ通信コストを抑えることができます。三井不動産では、管理するオフィスビル、商業施設、マンション、物流施設等における監視カメラで「SeeIT」の導入を進めており、他社でもすでに鉄道の踏切など交通インフラ監視にて採用されています。また、カメラ本体がアナログ、デジタル双方の同時出力に対応している大規模施設向け「SeeIT」対応型監視カメラシステムを共同で開発し、共同特許を申請しております。この技術により既設の監視システムを使用したままクラウド環境に接続して管理することができるため、既存施設各所での導入が進んでいます。

既存の技術



「SeeIT」の技術



【「SeeIT」が映像プラットフォームを構築】

三井不動産およびクリューシステムズは、「SeeIT」を、今後活用の範囲が大幅に広がっていくであろう映像データ活用分野の、新たな映像プラットフォームと位置付けています。「SeeIT」対応型カメラは、ライセンスを提供することによりクリューシステムズのみならず他社でも製造可能とし、また映像分析ソフトについても各ソフト開発会社が製作可能とすることで、それぞれの製造コストの削減、利用者の増加につながり、今後5年で普及率の大幅拡大を見込んでいます。

